

湯沢市参加・協働のまちづくり提案型補助金事業提案書①

団 体 名		特定非営利活動法人 おがち ふるさと学校		事業区分	ハード・ソフト	
事 業 名		” わくわく・ドキドキ” するまちづくり事業		継続事業	4 年目	
実 施 期 間		交付決定日 日から 令和 8 年 2 月 28 日まで				
補 助 対 象 経 費		525,000 円		補 助 金 申 請 額	420,000 円	
事 業 目 的	課 題	(事業を計画するに至った課題とその原因はなにか) 新地区センター建設等検討委員会から引き継ぐかたちで「建設委員会」が設置され院内らしい事業を模索しながら施設機能等の協議がかさねられ提案書がまとめ上げられようとしている。この提案内容を広く住民に周知し、意見をくみ上げながら地域住民一体となり、新しいセンターに、いかに” いのち” を吹き込めるかが課題である				
	目 的	(課題の原因を解決する目的はなにか) 院内地区の住民は、歴史・文化・芸術を大事にし、その気風をブラッシュアップさせ、次世代の子供たちに継承できるよう、自分達自ら” わくわく・ドキドキ” するまちづくりを目指してきた。そして持続可能な「” 誇れる” そして” 選ばれる” いんない」を構築することを目的としたい。				
事 業 内 容	対 象	・ 地域住民				
	内 容 (流れ)	(いつ、どこで、どの様な内容の事業を、どの様な方法で行うのか) 1. 院内銀山踊り継承事業（練習会）3 回 : 6月上旬～9月下旬 ・ 「院内銀山まつり」、「フリーマーケット」での発表 1. うたごえ喫茶（2回開催） : 7月下旬～9月上旬 ・ 市内の「歌声同好会」の演奏・指導による合唱 1. ロケ地紹介ショートフィルムコンペティション2025への参加 : 9月下旬 ・ ” いんないの街を世界へ！発信”（フィルムコミッション事業） 1. 院内探訪（院内再発見）、秋田の鉱山パネル修復・展示会事業 : 8月下旬 ・ 元湯沢市「カトバイヤー」佐々木詔雄氏による修復指導・ギャラリートーク 1. 「いんない紅葉まつり：フリーマーケット」の開催 : 10月26日（日） ・ 町内会の「地域ビジネス」支援 1. 第2回「いんない芸術・文化祭」の開催 : 12月、1月 ・ 映画上映会（2本） ・ 「いんない落語Cafe」 1. 先進地視察（山形県金山町）：2月 ・ 金山町まちづくり100年運動について：金山町役場				
	目 標 と 計 画		目 標	新視点からの院内再発見	目標の根拠	地域力のアップ
		2 年 目	目 標	伝統芸能の体験	目標の根拠	地域力のアップ
			計 画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 鳥海町、羽後町の人形芝居や番楽など近隣の伝統芸能を若い世代は観たことがないのではないだろうか。それらの団体をお招きして小さなフェステバルを計画してみたい。		
		3 年 目	目 標	芸術・文化の体験	目標の根拠	地域力のアップ
			計 画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 和太鼓の競演、ロック・フェステバル、ストリート・パフォーマンス等の若者の表現者の発現の場を提供したい。 パフォーマンス会場は、旧院内尋常高等小学校の前庭で開催したい。		
～ 5 年 目	目 標	” 誇れる院内” の構築	目標の根拠	地気力のアップ		
	計 画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) 院内の特徴として、地域の諸団体が世代ごとに重層的に存在し、スムーズに連携が取れていることである。その利点を十分に生かしながら、地域の歴史や文化を情報発信し、” 誇れる院内” にしていきたい。				
規 制	(事業を行う上での規制はあるか、どのように対処していくのか) 特になし					

(裏面)

事業スケジュール	期 間	内 容	担当者
	6月 月上旬 ～ 9月 月下旬	院内銀山踊り継承事業（練習会）3回	諸越幹子
	7月 月下旬 ～ 9月 月下旬	うたごえ喫茶（2回開催）	高橋桃子
	7月 月上旬 ～ 9月 月下旬	ロケ地紹介ショートフィルムコンペテーション2025への参加（フィルムコミッション事業）	会田一男
	8月 月中旬 ～ 9月 月下旬	院内探訪、秋田の鉱山パネル修復・展示会事業	高岡 正
	10月 月下旬 ～ 10月 月下旬	フリーマーケットの開催：町内会の「地域ビジネス」支援	全 員
	12月 月上旬 ～ 1月 月下旬	第2回「いんない芸術・文化祭」の開催	会田一男
	2月 月上旬 ～ 2月 月下旬	先進地視察（山形県金山町）	諸越幹子
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
住 民 参 加		（事業に対し、どのように住民が参加できるか） 院内地区は、地域自治組織を中心に当法人、若者集団「いんない未来塾」「院内児童クラブ」などの諸団体の協力体制が整っているのが特徴である。事業推進においてもポスター、チラシ等の企画・デザインの専門家もおり広報活動も含め、地域内の人材で対応できるほどで、地域住民への広がりも極めて迅速であり、住民参加の意識も高い。	
事業のアピール点		（地域の特性を活かした事業か、アイデアや着眼点のどこが優れているか） 当法人の定款にフィルムコミッション事業が明記されている。昨年、院内がロケ地となった日活映画「女中っ子」の上映会を開催した。大好評のなか感動ものであった。映画、TVドラマ等のロケの誘致は、院内地区住民の70年来の宿題である。 旧院内尋常高等小学校をはじめ「院内石切り場跡地」、そして古い町並みの風情をショートムービーとして応募し、世界の映像作家にアピールしたい。これは、継続事業としていきたい。	

※記載欄の過不足は適宜調整してください。